

校区の取り組みを紹介します!

賀茂校区

昨年11月、賀茂校区男女共同参画協議会と人権尊重推進協議会との共催行事でバス研修に行きました。

立花高校では、「当たり前」と思っていることが、多くの人を苦しめていることもある、お互いを認め合うこと、斎藤校長のお話にみんな涙が止まりませんでした。

バスの中では、男女共同参画の視点にたった避難所づくり、○×クイズ、野村望東尼について学びました。



望東尼は高杉晋作ら尊王攘夷派の志士をかまくまうなど助けた幕末の歌人です。試練を乗り越え、信念を持って行動した強さを知りました。

男女共同参画のことを学べる時間が持てて良かったという声も聞きました。

(賀茂校区 早田 祐子)

室見校区

室見校区男女共同参画協議会は委員9名、推進委員約50名で構成されています。推進委員とは自治会長、各団体長、ボランティアの方々です。地域でどのようにしたら男女共同参画社会をすすめることができるかを課題としていろいろな取り組みをしています。今年度の独自の活動としては花いっぱい活動(ハンギングバスケット講座、街路花だん)、子育てサロン(お父さんと遊ぼう、月2回のサロン)、男の料理教室(博多雑煮)、委員研修会(育児休業体験談など)です。

まだまだ『男女共同参画社会』という言葉自体を聞いたことがない方も多いようです。

今後もいろいろな年代の方々を対象に試行錯誤しながら活動をすすめていきたいと思ひます。

(室見校区 江藤 みどり)



令和4年度 早良区男女共同参画をすすめる会 委員紹介

百道浜 福田 芳子	西 新 曲 手 さよみ	百 道 村 山 美都子
高 取 一坊寺 優子	室 見 江 藤 みどり	原 松 永 真喜子
大 原 藤 田 千恵子	原 北 李 次子	小 田 部 中 瀬 莖子
飯倉中央 佐藤 京子	飯 原 藤 井 和 美	原 西 永 倉 都美子
飯 倉 細 川 勝子	有 田 小 柳 洋 毅	有 住 中 村 名 菜 代
賀 茂 早 田 祐 子	田 隈 西 川 久 美 子	田 村 緒 方 豊 子
野 芥 日 高 知 子	四 箇 田 木 下 ま さ 子	入 部 立 石 妙 子
脇 山 真 子 美 穂	内 野 曲 淵 石 田 眞 理 子	早 良 北 崎 エ ミ 子



【発行】 早良区地域支援課・早良区男女共同参画をすすめる会

〒814-8501 福岡市早良区百道2丁目1番1号 TEL: 092-833-4403 令和5年3月発行

かたらい

早良区男女共同参画講演会を開催しました!

「変わる勇気、変えるアクション」 ～女性も男性も共に暮らしやすい社会を創る～

講師 山口 香さん

筑波大学教授/元女子柔道選手(ソウルオリンピック銅メダリスト、世界選手権金メダリスト)

令和4年11月3日(木・祝) 早良市民センター ホール



山口 香さん

女子柔道の先駆けである山口香さん。

6歳の時「姿三四郎」を見たのが柔道を始めるきっかけ。

当時は柔道を習っている女子は少なく「女だから」と言われながら、男の子にまじって柔道を始めたものの、やってみたら男の子より強かったそうです。女子だけの試合が始まったのは中学生の頃で、それからの活躍はみなさんのご存じの通りです。

女子のスポーツの歴史はまだ浅く、現在は多くの女性選手がオリンピックに出場し成績も上げていますが、これは最近数十年のことだそうです。

世界では今でも女性であるという理由で教育を受けられなかったり、スポーツができなかったりする国や地域もある、女性でも障がい者でも高齢者でも

「やりたいこと」に挑戦できる、誰もが夢をあきらめない社会を目指していくことが重要だと言われました。それを実現するために、多くの女性たちが重く硬い扉を切り開いてきたという話が印象的でした。

「沈黙は現状維持ではなく後退である」という山口さんの言葉を肝に銘じ、これからの私たちの活動をすすめていきたいと思ひました。

(原校区 松永 真喜子)



早良区男女共同参画をすすめる会は、下記の宣言を校区活動の指標とし、「校区活動に男女共同参画の視点をもたらすこと」を目指して活動しています。

早良区男女共同参画をすすめる宣言

- ①地域で「男女共同参画について考える機会」を提供し、個々の意見を尊重・共有する。
- ②学びと気づきに努め、その成果は発信する。
- ③公民館や校区の各団体の皆さんとの連携に努める。
- ④自治協議会の一員として、「男女共同参画の視点」から校区行事を盛り上げる。

ブロック活動紹介

早良区男女共同参画をすすめる会では、区内を4つのブロックに分けて研修を行っています。令和4年度は、次の4つのブロックで研修を行いました。

Bブロック (飯倉、有田、有住、賀茂、田隈、田村校区)

「一人ひとりがイキイキと輝くために! LGBTQって何?」

みうら のぶひさ

令和4年9月11日(日) 賀茂公民館 講師 三浦 暢久さん(NPO法人 カラフルチェンジラボ代表理事)



LGBTQに対する正しい知識と考え方をわかりやすくお話していただきました。
カミングアウトしたことで強くなれたこと、そして体験を話すことがまだまだ息苦しい世の中を懸命に生きている仲間たちへのエールになる、との思いを熱く語られました。
「ずっと悩み続けた私たちのことを知っていただくことで、みんなが生きやすい社会に少しずつ近づいていく…」
そんな三浦さんの思いを受け止め、これからも学び続けたいと強く感じました。(有住校区 中村 名菜代)

Dブロック (百道浜、西新、百道、高取、室見、原校区)

映画上映会「ベアテの贈りもの」

令和4年10月8日(土) 早良市民センター 視聴覚室

1945年の第2次世界大戦敗戦後の日本で日本国憲法の作成が急がれていました。その中で人権に関する草案作りのメンバーの一人となっていたのが、ベアテ・シロタ・ゴードンです。

ベアテはリストの再来とも言われたピアニストの父、レオ・シロタの日本への招へい時に両親に伴われて来日しました。少女時代を日本で過ごした後、アメリカの大学に留学しました。

終戦時にアメリカにいたベアテは、戦時中も日本に残っていた両親と合流するために米軍の軍属として再来日します。日本語が堪能なベアテは図書館を巡り、多くの国の憲法を参照して女性や子どもの権利について具体的に記した10カ条余りを起草しました。それがもととなり、女性の権利と男女平等を明文化した日本国憲法(1946年11月3日公布)第二十四条ができました。

また国連では女性差別撤廃条約が1979年に採択され日本も1985年に批准、男女雇用機会均等法、育児休業法、介護休業法などが整備され1999年に男女共同参画社会基本法ができ、男女共同参画社会の形成が21世紀の我が国の最重要課題とされました。しかし、2022年世界経済フォーラムが発表した男女平等がどれだけ実現されているかを数値化した「ジェンダーギャップ指数」では、日本は146カ国のうち116位、主要7カ国(G7)の中では最低。家事、育児は女性の仕事と決めつける意識が女性を縛り、活躍の足かせとなっているのではないかと思います。

ベアテも映画の中で「この草案が十分に活かされることを信じています」と言っています。とても大事な贈り物を受け取った私たちは、性別にとらわれず、共に力を合わせて社会を発展させていかなければとの思いを深くしました。(百道校区 村山 美都子)



Cブロック (大原、原北、小田部、飯倉中央、飯原、原西校区)

「身の回りから男女共同参画を考えよう」

令和4年10月30日(日) 大原公民館 講師 樋口 綾子さん(福岡市男女共同参画推進サポーター 九州栄養福祉大学 教授)



DVD「あした咲く」を鑑賞した後、福岡市男女共同参画推進サポーター樋口綾子先生の講義を聴きました。

DVD「あした咲く」の中では、姉妹の対立(主婦の仕事、子育て)、父との対立(妻への甘え)、地域の人とのふれあい(LGBT)、パワハラ等から新しい考え方に気づき、自分なりの生き方を見つけて「明日は幸せになろう」で締めくくられました。いろいろな内容がありとても理解しやすく参考になりました。また見たくなるDVD「あした咲く」です。もう一度見たら男女共同参画をもっと深く考えるようになれると思いました。

続きまして、樋口綾子先生の講義の中では、男女共同参画の観点から、1.働き方改革、2.男女共同参画の教育推進、3.家族・親の姿、4.女性やマイノリティーの意見を大切にすることを話され「本日の参加者がモデルとなり男女共同参画をすすめてまいりましょう」と締めくくられました。

研修会、啓発活動などを通じて今一層、男女共同参画を理解して進めていきたいと思いました。いろいろな課題がある男女共同参画についてわかりやすく話されたことがとても印象深かったです。

「身の回りから男女共同参画を考えよう」のタイトルから「身の回りから男女共同参画をすすめていこう」に変わっていくことを願います。(原北校区 蓮井 孝夫)

Aブロック (野芥、四箇田、入部、脇山、内野・曲淵、早良校区)

DVD上映会「あした咲く」

令和4年12月3日(土) ともてらす早良 大会議室

会社員の独身の妹と専業主婦の姉はそれぞれの立場による悩み・葛藤を抱えて生きています。しかし、お互いを理解することができず口論になってしまうこともあります。しかし、お互いの話を聞くこと、地域の人々と触れ合うことで、別の視点や価値観に気づき、自分で自分の生き方を選択し、行動を起こしていきます。

コロナ禍で家族・地域の方と話をしたり、触れあうことが難しくなっていますが、私たち一人一人がいろんな課題(女性の家事・育児における負担が多い状況、ハラスメントなど女性に対する人権侵害・LGBTQなど)があることを知り、目を向けることが大切だと感じました。

男女協委員になり、講演会に参加したり人権ビデオを観ることで、いろんな課題があることを少しずつですが知ることができています。それによりいろんな気づきもあるので、今後は身近なところで行動できたらと思います。(内野・曲淵校区 石田 真理子)

